

会議名： 株式会社広域高速ネット二九六

平成 29 年度 佐倉市・四街道市 放送番組審議会

日時： 平成 30 年 2 月 8 日（木） 11:00-13:30

場所： 広域高速ネット二九六 通信技術センター役員会議室

出席者： 番組審議委員および弊社役員・社員 15 名

#### ■出席委員

幾田 裕之 委員	佐倉市 P T A 連絡協議会 会長
茅野 達也 委員	佐倉市教育委員会 教育長
毛見 文枝 委員	NPO 法人ちば市民活動 市民事業サポートクラブ
小島 英男 委員	千葉みらい農業協同組合 代表理事専務
高橋 信彦 委員	四街道市教育委員会 教育長
塚田 雅二 委員	佐倉商工会議所 会頭
萩原 温 委員	佐倉市観光協会 会長
増田 實 委員	四街道市商工会 会長

#### ■株式会社広域高速ネット二九六 出席者

佐藤 伸五	代表取締役会長
藤本 光弘	代表取締役社長
伊藤 完	取締役営業本部本部長
足立 周	取締役管理本部本部長
西田 雄郎	取締役技術本部本部長
堀内 俊明	営業本部営業部部長
藤本 健太郎	営業本部放送制作部部長

## ■議事録

### 開会挨拶 <代表取締役会長 佐藤 伸五>

皆さんこんにちは。大変お忙しい中お集まり頂きまして本当にありがとうございます。  
私どもは昨年10月に開局30周年を迎えました。これも偏に皆様方のお蔭とっております。大変ありがとうございます。

開局30周年ということで、放送を思い返すと開局当初は、右も左もわからない、放送制作スタッフも色々な苦勞をしながら今日まで来ているわけです。当時は1市町村1社という規制があった関係でそれぞれ事業会社があり、我々の業界でケーブルテレビ協議会というものがございまして、当時は12局ありましたが、今は統合して、経営母体は僅かですけど、当時皆でNHKさんに行き、講師を派遣してもらって放送制作の勉強をしたわけです。もちろん放送内容の企画だとかそうしたことも大事ですが、まずきっちり撮れるように技術を磨いたわけです。そんなことをしながら今日に至っています。大分遜色ない技術を得たと思いますし、企画も、ややもするとNHK的ですねという評価を頂く状況になってきました。着実に色んな技術が向上して皆様に期待にこたえられる番組ができてきていると思っています。

本日は放送番組審議会ですから、これから2つの企画ものの番組を見ていただいて、忌憚のないご意見をいただきながら今後どんな放送がいいのか、辛口でも結構ですが、新たに番組作りに邁進していきたいと思っています。今日は本当に様々な意見を期待していますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### 番組視聴

#### ■今年度制作・放送した番組

- ①「北総探訪～千葉県初！日本遺産 江戸を感じる四都市物語～」  
(60分番組／11月16日～30日放送) ※4K制作
- ②「けーぶるにつぼん・祭 JAPAN」800年の鬼舞～地獄劇 鬼来迎～  
(30分番組／11月25日～12月8日放送予定) ※4K制作

### 番組審議

#### ■<幾田 裕之 委員 佐倉市PTA連絡協議会 会長>

両方とも興味深かったです。私は仕事が浅草に近いので観光客も外国人観光客が多いので、日本らしいところを見せてあげたいなあというところがあって、この辺を紹介できたらいいなあと思っていました。最近銚子に行ったのですが、懐かしい感じの町並みがあって、そういったところを感じられたのが良かったなと思いました。子供たちが家で見る分には、子供たちには面白くないのかなとも思いました。皆まとまって一緒に見ていたら記憶に残る映像だと思いました。

#### ■<茅野 達也 委員 佐倉市教育委員会 教育長>

2つの番組を見させていただきました。映像が綺麗ですし、近い将来オリンピックが来ますので外国や他県の方にも地区を広報する意味でも大変参考になるような、映像であり番組であったなあと思いました。ひとつひとつが丁寧で映像も鮮やかで学校教育にも生かせる部分もありました。ぜひ生かして行きたいと思います。

2つ目は部活等を紹介してもらって子供たちにとっては励みになります。今後とも学校の子供たちの活動する姿も四街道市を含めてたくさん紹介して頂く場面があれば励みになるし昼間見ているおじいちゃん、おばあちゃん

んも大変喜ばしいかなと思います。私共で協力できることは協力して行きたいと思いますので今後ともどうぞよろしくをお願いします。

■<毛見 文枝 委員 NPO 法人ちば市民活動 市民事業サポートクラブ>

今日は素敵な映像を見せていただきましたが、個人的な意見としては、「北総四都市」は結構色々なところで見慣れている映像だったのでもう少し違う角度でもいいのかなあと思う反面、記念の番組なのでこんな感じしかないのかなあとも思います。もうひとつの「鬼来迎」はとても良かったです。どうしても私たちが中々目に出来ないような映像を流して頂けると、また新しい掘り起こしができたり実際に活動している方たちの力になると思いますのでこうした貴重な映像を是非見せて頂きたいと思います。ありがとうございます。

それから毎月放送スタッフの方に情報収集に来ていただいて、色んな番組を取材して頂いたり、2日程前には総務大臣賞の「ふるさとづくり大賞」を四街道の団体が受けまして、都内まで取材も来ていただけて、皆さんのフットワークの軽さと熱心さを感じました。どうぞこれからもよろしくお願いいたします。

■<小島 英男 委員 千葉みらい農業協同組合 代表理事専務>

初めてなので放送番組審議会についてまだわからない部分もありますが、その中でも1つ2つご意見を述べさせていただきます。

2つの番組を見させて頂きまして、非常によくできているなという印象でございます。千葉県をPRする意味ではケーブルネット296だけでなくNHKも巻き込んだ形で取材できれば、もっとよく北総地区を理解していただけたと思います。私はJAでございまして、北総地区は農業が盛んな地域でございます。全国では第4位の生産県でございます。本県では第2位を奪還すべく今も海外にリアルに行っているところでございます。もう少し農業に関する特集も取り上げていただければと思います。

■<高橋 信彦 委員 四街道市教育委員会 教育長>

各作品大変興味深く見させて頂きました。いつも思うんですけど、映像に対する思いが感じられた番組だと思いました。空の色とか、田んぼの稲のところまでカメラを入れて、或いは雨の降っている場面も、そういう自然と人との関わりあいを感じさせるような思いを感じました。

江戸時代の北総探訪ですが、できればシリーズ化していただければいいなと感じました。例えば江戸時代の絵図とか町割りとか浮世絵などを挟みながら4都市を深く掘り下げていけるようなシリーズ化ができるといいなと感じました。

それから横芝光町の虫生地区の鬼来迎は初めて知りました。私も映像にすごく感心をしたんですけど、古い仮面など、実際に見たことあるんですがあんなに綺麗ではないんです。きれいに美しく撮れていてこだわりを感じました。

日頃から学校の様子とか、四街道市の祭りの様子とか、或いは子供たちの活動を放映していただいてありがとうございます。子供たちのモチベーションも高くなっていくのではないかなと感じました。

■<塚田 雅二 委員 佐倉商工会議所 会頭>

私もテレビを見る時間がないので社員や職員から聞いた話をさせて頂きまして、夏の一大イベントになっている甲子園を目指しての高校野球に関しては、千葉県で1校しか出ていないのに、予選を放映して頂いているということで保護者や関係者から自分の息子や身内がテレビの映像に映っている。これは大変良いことなのでこれから

も続けて頂きたいというような情報が私の所にたくさん頂いております。その辺もひとつよろしくお願ひしたいなと思っております。

そしてもう一つ、先ほどの北総4都市の話がありましたが、佐倉の場合は天守閣がないので城址公園に手前味噌ではございますが、私もある団体で入り口に開国の父と言われた堀田正睦、それからハリスの銅像、サンケイ亭などを映していただければいいなあと思います。よろしくお願ひいたします。

■<萩原 温 委員 佐倉市観光協会 会長>

開局30周年ということでおめでとうございます。関係者の方々には敬意を表します。

佐倉は城下町でございます、非常に寺が多いので、寺の特集を組んでいただければと思います。オリンピック控えましてインバウンドの方々が非常に多くございます。インバウンドの方がどういうことに興味を持っているのかなと我々も考えてみますと、着物に対して興味があります。着物に対して解りやすい特集など組んで頂いてそういうものを発表してもらおうと、インバウンドが地域に来てくれるということも多いんじゃないかなと思います。よろしくお願ひいたします。

■<増田 實 委員 四街道市商工会 会長>

私が驚いたのは御輿なんですが、というのも私は四街道市で産業祭り・ふるさと祭りというのがあるんですが、ふるさと祭りの実行委員長を6年続けて務めています。始めは御輿3基からスタートして、御輿がいまでは6・7台に増えています。一昨年から女性の御輿も出るようになりました。今、御輿組合というのもやっています、少し四街道市からも補助金を出してくれなんて反省会の時に市長に話しましたが、それは容易ではないということでした。ふるさと祭りは御輿で皆さん集まってくるのではないかなと、私個人的には思っています。他所のお祭りは見る機会あったんですが、地元でやるのは目の前で見ていますが、画像でこんなきれいな御輿が見られるなんて驚きました。こんなに綺麗に映るものなんだなあと思つづく思いました。

それから2作品目の地獄劇ですが、私は田舎者でうちの集落は35軒しか今ありませんが、私は82歳になっているんですが、自分が小学校行っていた時は、学芸会というのがありまして、5・6年生になると主役をやれるととても喜んだことを70年前位を思い出していました。うちの家族が一番下の孫が大学4年を終わらして、自分としては学校関係はほとんどこの20~30年、用がなかったわけですから、全然解らないんですが、番組を見たときに自分の集落がどんどん農家を離れて、義理人情が薄れてきたご時世で、うちの集落でもこうした劇があれば皆活性化してたかな・・・と自分の考えだけで恐縮ですが、それを今日は強く感じさせられました。

閉会挨拶<藤本 光弘 代表取締役社長>

本日はお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

放送事業は創業事業で根幹なものですから、放送を通じて地方創生に貢献できるような企業でありたいと思っています。インバウンドというお話が出ましたが、観光に他県の方が来て頂くということもそうですし、お住まいになられている方が出て行かない、ないしは他県から移り住んで頂くということにも貢献できるように、地域の魅力を発信するとか、住んでいたら便利だなとか、安心して暮らせるなということ、伝えたり実感できるようなそういう放送を心掛けていきたいなという風に思っていますので、引き続きご支援いただければありがたいなと思います。

本日はありがとうございました。

以上